一般社団法人 GOLD 日本委員会

2023 年度

事 業 報 告 書

計　算　書　類

監 査 報 告 書

自　2023 年　4 月　1 日

至　2024 年　3 月 31 日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

2023 年度 事業報告書

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

Ⅰ．法人の状況に関する重要な事項（事業の経過及びその成果）

1. 認知度把握調査事業

1-1. COPD 認知度把握調査（付属資料 1 参照）

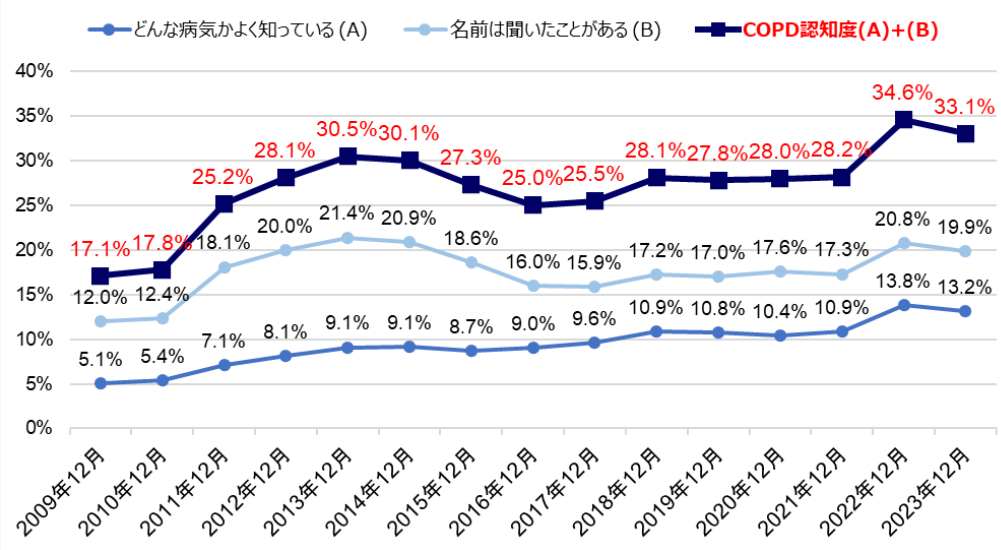
概　　要：健康日本 21（第二次）の指標として取り上げられた GOLD 日本委員会の調査と同じ方法論で認知度の推移を調べた。

実施時期：2023 年 12 月 8 日～9 日

内　　容：全国 10,000 人の成人男女を対象としたインターネット調査

結　　果：2023 年 12 月の COPD 認知度は 33.1%

【COPD 認知度推移】



（単一回答　各 n=10,000）

2. 啓発事業

2-1-1. ホームページによる情報発信

・年間通じてホームページ（www.gold-jac.jp）で COPD の疾患情報、統計情報等の発信、また各地で行われるイベント情報の発信を行う。

・新しい GOLD レポートの改訂のポイントに関するコンテンツを追加する（日本語版）。

⇒イベント登録数：８件

⇒ホームページからの転載許可申請数：11 件

・COPD 集団スクリーニング質問票（COPD-PS）　８件

・COPD 認知度推移グラフ　２件

・CAT　１件

2-1-2. ホームページ改修

・動画の掲載をし易くするなど、情報発信力を高めるための改修を実施。

⇒2024 年度完成予定

2-2. 日本 COPD サミット WEB セミナーの開催 （付属資料 2 参照）

概　　要：世界 COPD デー前後に開催していた「日本 COPD サミット」を WEB セミナーとしてインターネットで全国配信。視聴場所を限定せずに情報を提供できるメリットを生かし、多くの方に COPD について知っていただく機会とした。
プログラムは事前収録して 85 分番組としてまとめ、1 か月間のオンデマンド配信を実施。

主　　催：一般社団法人 GOLD 日本委員会、一般社団法人日本呼吸器学会、
一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

テ ー マ：「COPD の発症と進行の予防を考えよう」

日　　時：2023 年 11 月 15 日～12 月 15 日　オンデマンド配信

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ：開会の辞　植木　純 先生（一般社団法人 GOLD 日本委員会 代表理事）
講演 1「スモークフリーファミリーを目指して」
順天堂大学医療看護学部公衆衛生看護学 助教　板井 麻衣
講演 2「最近話題のセデンタリー行動から抜け出そう」
順天堂大学大学院医療看護学研究科
臨床病態学分野リハビリテーション系 准教授　佐野 裕子
講演 3「COPD を取り巻く最新の動向」
福島県立医科大学 医学部 呼吸器内科学講座 主任教授　柴田 陽光
閉会の辞　福地 義之助 先生（一般社団法人 GOLD 日本委員会 名誉会長）

対　　象：一般、自治体健康政策担当者、医療関係者

告　　知：〔開催案内チラシの配布〕
・配布日　2023 日年 10 月 19 日（木）発送
・配布先　全国自治体（1963 件）、会員他関係者（37 件）、健康保険組合（1939 件）

視聴申込数：490 件（前年：409 件）

視 聴 者 数：262 件（前年：237 件）

視　聴　率： 53%（前年：58%）件

【収支報告】

収入の部		（単位：円、税込み）
費　用　項　目	金　額	備　考
主催負担開催費	2,400,000	GOLD 日本委員会　100 万円 日本呼吸器学会　　100 万円 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 40 万円
合　　計	2,400,000	

支出の部		（単位：円、税込み）
費　用　項　目	金　額	備　考
動画コンテンツ作成・配信費用	1,150,000	
講師謝礼・交通費	340,000	
チラシ印刷・発送費	660,000	印刷 12000 部・発送 3939 件
事務局費	250,000	
合　　計	2,400,000	

2-3. 呼吸器関連学会が主催する学術集会での共同企画

第 33 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会にて COPD に特化したセッションを企画

時　　期：2023 年 12 月 2 日

会　　場：仙台国際センター

テ ー マ：「COPD 研究・診療の動向 2023」

座　　長：植木　純、福地 義之助

講 演 1：日本の疫学研究からみたタバコによる健康障害　　室　繁郎

講 演 2：GOLD 2023 Report 改訂のポイント　　植木　純

3. 啓発支援事業

3-1. GOLD 日本委員会オリジナル啓発資材等の案内・提供

概　　要：啓発活動のノウハウや GOLD 日本委員会オリジナル啓発資材等の案内・提供

実施時期：2023 年度

内　　容：①啓発ツールの作成および提供：

啓発資材を希望する自治体や団体等に、ホームページ上で啓発活動の登録を行うことを条件に、以下の啓発資材を提供した。

②啓発活動の登録数：8 件

啓発資材を希望する自治体には、ホームページ上で啓発活動の登録を行うことを条件に以下の啓発資材を提供した。自治体以外にも医療機関、健康保険組合、患者団体などに資材提供した。

〔有償で提供した啓発ツール〕

申込件数：1 件

提供資材	2023 年度 作成数	実費	送料	2023 年度 提供数
4 つ折りリーフレット 「肺の病気 COPD ってなんだろう」	0 部	10 円 / 冊	実費	300 冊
GOLD リボン ピンバッジ	0 個	100 円 / 個	実費	0 個

〔無償提供した啓発ツール〕

提供方法：イベント・プラン登録者に自動配信メールでダウンロードページを案内

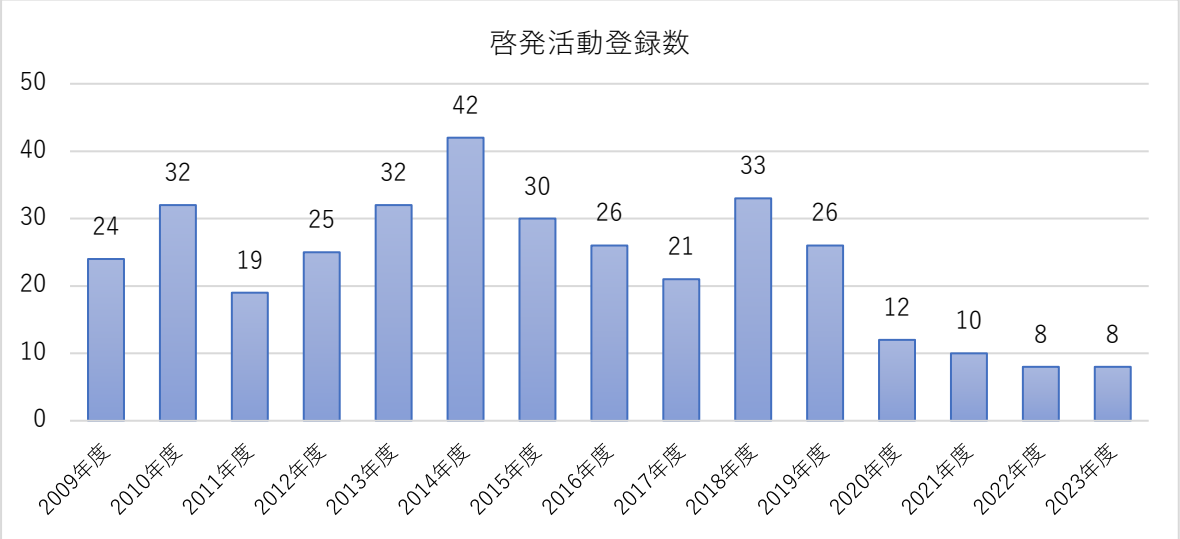
提供資材	仕様
世界 COPD デー ポスター	PDF データ 2 種
勉強会用パワーポイント	Microsoft PowerPoint データ
ポスター・チラシ テンプレート	Microsoft Word データ各 2 種
肺年齢チェック体験説明書（検査質問票）	PDF データ
COPD 集団スクリーニング質問票（COPD-PS）	PDF データ

〔有償啓発ツール提供先〕1 件

〔啓発ツール在庫数〕　リーフレット：741 部　小冊子：143 冊　ピンバッジ：820 個

〔啓発活動の登録数〕　2023 年度に登録されたイベント数　8 件

●年度別啓発活動登録数



〔2023 年度の啓発活動登録一覧〕

実施日	イベントタイトル	都道府県	実施団体
11/1～30	区報掲載及び区役所内掲示	東京都	豊島区保健福祉部 地域保健課
11/1～30	世界 COPD デーに向けて COPD の周知、啓発	愛知県	名古屋市健康福祉局 健康部健康増進課
11/7	世界糖尿病デー・世界 COPD デー W キャンペーン	鳥取県	鳥取市保健所 健康・子育て推進課
11/1～22	COPD 啓発展示	香川県	丸亀市健康福祉部健康課
11/15～30	COPD の周知	東京都	国際興業健康保険組合
11/5	第 25 回東広島健康福祉まつり	広島県	東広島市医療保健課
11/15	世界 COPD デーに係るライトアップ	愛知県	名古屋市健康福祉局 健康部健康増進課
11/15	肺の健康を保つために ～「はいかつ」を学びませんか～	大阪府	堺市健康部健康推進課

3-2. 自治体他の啓発活動支援

3-2-1. 港区 COPD 講演会の後援および講師派遣

概　　要：みなと保健所が主催する一般向け啓発イベントを後援し、協力した。

実施時期：令和 5 年 11 月 7 日（火）14：00～16：00

会　　場：みなと保健所 8 階 大会議室

タイトル：みんなで知ろう！肺の病気 COPD

～専門医による最新知識を学び、理学療法士と呼吸リハビリテーションを実践しよう～

講　　師：順天堂大学大学院 医療看護学研究科 特任教授　植木　純 先生

順天堂大学大学院 医療看護学研究科 准教授　佐野 裕子 先生

4. その他の活動報告

4-1. 会員募集および管理業務

2023 年度の会員数は以下のとおり。

- 賛助会員（ゴールド会員）：4 企業　　AZ, GSK, 帝人ファーマ, NBI
- 賛助会員（シルバー会員）：0 企業
- 賛助会員（ブロンズ会員）：3 企業　　大塚製薬, 杏林製薬, チェスト
- 正会員：36 名・団体

4-2. 後援名義等の使用承認

2023 年度に以下の 3 件の後援名義使用承認を行った。

許可番号	後援/共催	申請者	事業名	承認日	承認の条件	開催日
0040	講演	アストラゼネカ	m3.com 循環器専門医師向け COPD 啓発動画コンテンツ	2023.4.1	特になし	2023.6～9
0041	後援	港区みなと保健所 健康推進課	健康講座「みんなで知ろう！肺の病気 COPD(シーオーピーディ)(慢性閉塞性肺疾患)～専門医による最新知識を学び、理学療法士と呼吸リハビリテーションを実践しよう～」	2023.9.6	特になし	2023.11.7
0042	後援	岐阜県医師会	令和５年度岐阜県医師会県民公開講座「教えて！COPD～ガンだけじゃない！タバコでおこるコワーイ肺の病気～	2024.1.15	特になし	2024.2.24-

4-3.「健康日本 21 における COPD の今後について」自見はな子議員 勉強会参加

日　時：2023 年 9 月 28 日　Web 会議

4-4. 第 5 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議『今度こそ、タバコ製品とサヨウナラ』にて講演

日　時：2023 年 10 月 1 日　Web 開催

演　題：「GOLD 日本委員会により COPD 対策」

演　者：植木　純（順天堂大学大学院医療看護学研究科臨床病態学分野呼吸器系）

4-5 愛知県庁本庁舎・名古屋市役所本庁舎 ライトアップ

日　時：2023 年 11 月 15 日 17:00～22:00

色　：オレンジ

市役所本庁舎

県庁本庁舎



Ⅱ．業務適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

1. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤/非常勤	就任年月日	報酬	担当職務	現職名
理事	福地 義之助	非常勤	2012.10.09	無	名誉会長	順天堂大学名誉教授
理事	植木　純	非常勤	2012.10.09	無	代表理事	順天堂大学名誉教授/ 大学院医療看護学研究科 特任教授
理事	一ノ瀬 正和	非常勤	2012.10.09	無		大崎市民病院　アカデミックセンター監理官
理事	木田 厚瑞	非常勤	2012.10.09	無		呼吸ケアクリニック東京 臨床呼吸器疾患研究所 理事長
理事	木村　弘	非常勤	2016.06.21	無		結核予防会 複十字病院 呼吸不全管理センター長/ SAS 治療センター長
理事	權　寧博	非常勤	2024.07.06	無		日本大学医学部 内科学系・呼吸器内科学分野 教授
理事	佐野 裕子	非常勤	2022.6.28	無	業務執行理事	順天堂大学大学院 医療看護学研究科 臨床病態学分野リハビリテーション系 准教授
理事	茂松 茂人	非常勤	2022.6.28	無		公益社団法人日本医師会 副会長
理事	柴田　陽光	非常勤	2024.07.06	無		福島県立医科大学 呼吸器内科学講座 主任教授
理事	永井 厚志	非常勤	2012.10.09	無		新百合ヶ丘総合病院 呼吸器疾患研究所 所長 東京女子医科大学名誉教授
理事	長瀬 隆英	非常勤	2012.10.09	無		東京大学名誉教授
理事	西村 正治	非常勤	2012.10.09	無		北海道呼吸器疾患研究所 理事長
理事	長谷川 好規	非常勤	2018.06.25	無		名古屋医療センター 名誉院長
理事	平井 豊博	非常勤	2019.06.24	無		京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 教授
理事	三嶋 理晃	非常勤	2012.10.09	無		社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院 総長
理事	室　繁郎	非常勤	2024.07.06	無		奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 教授
監事	工藤 翔二	非常勤	2012.10.09	無		公益財団法人結核予防会 代表理事

2. 事務局業務に関する事項

会計事務を含む事務局業務を外部業者である株式会社アース・ワン・オフィスに委託した。

委託先：〒160-0022　東京都新宿区新宿 2-5-10・5F

株式会社アース・ワン・オフィス

TEL：03-5360-4334　FAX：03-5360-4336

3. 会議等に関する事項

会議名 開催年月日	議事事項
第 1 回通常理事会 2023.4.29	定款の規定により代表理事 植木純が議長として選任された。 1. 第 1 号議案　2022 年度事業報告承認の件 議長の指名により、事務局から配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。 植木代表理事より、認知度調査データの地域別データと年齢別データをホームページで公開することについて提案され承認された。事務局へ対応を指示。 2. 第 2 号議案　2022 年度収支計算書承認の件 議長の指名により、事務局から収支計算書について配布資料に基づき報告があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。 工藤監事より、収入が減っているが、支出も抑えていることの確認があった。 3. 第 3 号議案　2023 年度事業計画書承認の件 議長の指名により、事務局から 2023 年度事業計画について配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。 ホームページの改修について、福地名誉会長より日本呼吸器学会の専門医検索と施設検索をリンクすることの提案があった。COPD サミットの演者について、プレ COPD、早期診断など、若い世代から COPD を意識してもらえるように、小児科領域、産婦人科領域からの選出を検討。 たばこの害については、日本呼吸器学会の禁煙推進委員会から推薦してもらう。 4. 第 4 号議案　2023 年度収支予算案承認の件 議長の指名により、事務局から 2023 年度収支予算案について配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。 5. 理事選任について 事業運営の増強のため、新たに理事 1 名が選任された。理事候補者は次の通りです。 ・權　寧博　先生　日本大学医学部 内科学系・呼吸器内科学分野 主任教授 また、西村理事より下記 3 名の推薦があった。 ・柴田 陽光 先生　福島県立医科大学 呼吸器内科学講座 教授 ・室　繁郎　先生　奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 教授 ・横山 彰仁 先生　高知大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学教室 教授 以上
定時社員総会 2023.7.6 【Web 会議】	定款の規定により代表理事 植木純が議長として選任された。 1. 第 1 号議案　2022 年度事業報告承認の件 議長の指名により、事務局から配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。 福地先生よりコメント：今後の検討事項として、erca（環境再生保全機構）で COPD の啓発に関係する事業として COPD の電話相談がある。月 1 回 2 時間程度、電話相談を長年担当しており、GOLD 日本委員会としての活動ではないので言及はしていないが、今後は、何らかの形で GOLD 日本委員会との関連で見直すこともあり得るかと思うの で 少し考えてみたい。 2. 第 2 号議案　2022 年度決算報告書承認の件 議長の指名により、事務局から配布資料に基づき、2022 年度 決算報告書について 説明された。 監査報告については、工藤監事からの監査報告書に基づき、決算が適正に処理されている旨の監査結果が報告された 。議長が決算報告書についての賛否を諮ったところ、出席社員全員意義なく満場一致をもって承認可決された。 3. 第 3 号議案　2023 年度事業計画について 議長の指名により、事務局から配布資料に基づき、2023 年度事業計画が説明された。 議長が事業計画書についての賛否を諮ったところ、出席社員全員意義なく満場一致をもって承認可決された。 ▷COPD 認知度把握調査、ホームページによる情報発信は引き続き継続。 ▷ホームページについて 、動画の掲載をし易くするなど 情報発信力を高めるための改修を進める。 ▷日本 COPD サミット WEB セミナーの内容について、今回は小児科や婦人科関係のトピックスで開催。 福地先生よりコメント：最近は小児期の発育の関係で COPD になる傾向が変わってくるということが大きなデータで確認されてきている。必ずしもタバコとか環境要因に直接的に被害を受けなくても、肺の発育自体に問題があるようなバックグラウンドがある人は、COPD の診断基準の中では肺機能低下のグループに入ってしまい、そのグループにかなりいることが 分かってきた。

	その辺のところで、子供の肺の健康というところに視点を向けるというのが、COPD の今後のひとつの分野として取り上げてもいいのではないかと思う。 ▷第 33 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会にて COPD に特化したｾｯｼｮﾝを企画 ▷啓発資材等の案内・提供は引き続き継続。 ▷港区 COPD 講演会の後援および講師派遣 について 11 月予定 植木先生より追加活動として、10 月 1 日の第 5 回禁煙推進学術ネットワーク学術会議で GOLD 日本委員会での活動を紹介する旨報告があった 。 共催：禁煙推進学術ネットワーク学術会議、日本呼吸器学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本口腔インプラント学会 茂松先生よりコメント：日本医師会で 月 2 回、日医ニュースという、都道府県や郡市区医師会、また会員に出している広報誌があり、GOLD 日本委員会の活動を紹介し、啓発資材を使ってもらえるようにしたり、COPD サミットの案内を出したり、活用してもらえるように取り組みたい。 4. 第 4 号議案　2023 年度収支予算案について 議長の指名により、事務局から配布資料に基づき、2023 年度収支予算について説明された。 議長が収支予算書についての賛否を諮ったところ、出席社員全員意義なく、満場一致をもって承認可決された。 木村先生よりコメント：最近ラジオ放送（FM 東京）で要請があり COPD について話しをさせていただいたことがある。その番組は朝の 9 時から 11 時までの午前中の時間帯での情報番組で、非常に女性の方、家庭にいらっしゃる方、もしくは子育ての方とか、在宅で仕事をされている方もいると思いますが、そういった方の参加がすごく多いということに今回気づき、若い方にターゲットをおいた少し違う視点での広報というのも、今後少し力を入れていかれたら、より認知度の上昇につながるのではないかなという気がした。今後の検討課題にしていただければと思う。 福地先生よりコメント：GOLD 日本委員会としては長く活発な活動をしていきているが、世界的な親機関である GOLD のグローバルの委員会との交流という面では必ずしも活発なものではなかったと思 う。 これは私たちの方からのアプローチも少なかったということが主な原因だと思うが、今後は、バジェットの減少傾向も踏まえまして限られた予算内で最大の活動を日本で展開するためには、やはり、親の GOLD のグローバルの活動に、どこかにドッキングするというようなことを考えていく必要があるのではないかと思う。 5. 理事候補者承認の件 議長は、新たに理事 3 名を選任したい旨を述べ、下記の者を指名し、その可否を議場に諮ったところ、出席社員全員意義なく満場一致をもって、下記の通り承認可決した。 理事　權 寧博、 理事　柴田 陽光、 理事　室 繁郎 以上

第 2 回通常理事会 2023.8.3 【Web 会議】	定款の規定により代表理事 植木純が議長として選任された。 1. 第 1 号議案　主たる事務所移転の件 議長の指名により、事務局から事務局オフィス移転に伴い、主たる事務所の移転について報告がなされた。議長は、当法人の主たる事務所を下記のとおり移転したい旨議場に諮ったところ、満場異議なく、承認可決した。 主たる事務所移転先：東京都新宿区新宿 2 丁目 5 番 10 号 5 階 移転の時期：令和 5 年 8 月 11 日 以上

令和5年度決算報告書

自　令和5年4月　1日

至　令和6年3月31日

一般社団法人 GOLD日本委員会

目　　次

1.　貸借対照表　・・・　1

2.　正味財産増減計画書　・・・　2

3.　財務諸表に対する注記　・・・　3

4.　財産目録　・・・　4

貸 借 対 照 表

（令和6年3月31日現在）

（単位:円）

科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産		流動負債	
		買掛金	176,000
現金預金	7,446,572	未払金	0
		未払法人税等	70,000
貯蔵品	93,604		
		負債合計	246,000
		（正味財産の部）	
		一般正味財産	7,294,176
		正味財産合計	7,294,176
資産合計	7,540,176	負債･正味財産合計	7,540,176

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1 計上増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
特別賛助会費	0	0	0
賛助会費	4,300,000	5,600,000	-1,300,000
一般会費	60,000	68,000	-8,000
② 事業活動収入			
特別企画収入	0	0	0
共催負担金	1,400,000	2,300,000	-900,000
寄付金	0	0	0
物品販売収入	4,600	9,580	-4,980
③ 雑収益			
受取利息	69	69	0
経常収益計	5,764,669	7,977,649	-2,212,980
(2) 経常費用			
① 事業費			
特別企画費用	0	0	0
イベント運営費	2,294,000	3,618,450	-1,324,450
関連学会共同企画	57,722	262,226	-204,504
啓発支援事業費	62	61,591	
認知度調査費用	368,500	335,500	
ホームページシステム改修費	22,000	13,200	
旅費交通費		0	
物品販売等事業費	4,234	8,712	-4,478
調査研究費		0	0
② 管理費			
運営費	2,112,000	2,112,000	0
通信費	7,925	31,090	-23,165
旅費交通費	109,730	245,890	-136,160
交際費		16,500	-16,500
会計決算費用	220,000	220,000	0
法人登記費用	132,479	65,000	67,479
法人税等	70,000	70,000	0
支払手数料	32,120	32,890	-770
会議費	1,303	0	1,303
雑費	738	3,188	-2,450
経常費用計	5,432,813	7,096,237	-1,663,424
当期経常増減額	331,856	881,412	-549,556
当期一般正味財産増減額	331,856	881,412	-549,556
一般正味財産期首残高	6,962,320	6,080,908	881,412
一般正味財産期末残高	7,294,176	6,962,320	331,856

財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

① 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込処理を採用しています

(2) 関連当事者との取引内容

該当事項なし

財　産　目　録

令和6年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金		手許保管	0
	預金	普通預金		
		三井住友銀行　神保町支店	運転資金として	7,066,962
		当座預金		
		ゆうちょ銀行　〇一九店	運転資金として	379,610
		預金合計		7,446,572
	貯蔵品	103．68円／個×820個	GOLDピンバッチ	85,017
	貯蔵品	14．553円／冊×143冊	「COPDってなんだろう」小冊子	2,081
	貯蔵品	8．781円／冊×741部	四つ折りリーフレット	6,506
		貯蔵品合計		93,604
流動資産合計				7,540,176
資産合計				7,540,176
（流動負債）				
	買掛金		事業費・管理費費用の掛金額	176,000
	未払金		管理費に係る費用の未払い	0
		買掛未払合計		176,000
	未払法人税等	東京都　法人都民税均等割他		70,000
流動負債合計				246,000
負債合計				246,000
正味財産合計				7,294,176

監査報告書

令和6年 5 月 22 日

一般社団法人　GOLD 日本委員会

代表理事　　植木　純　殿

一般社団法人 GOLD 日本委員会

監事　　工　藤　翔　二

私は令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度における一般社団法人 GOLD 日本委員会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法概要

（1） 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

（2） 業務監査については、理事会に出席し、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

（1） 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しく示しているものと認めます。

（2） 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上